

けんせつ小町部会第2回会議を開催 ～建設産業における女性活躍に向けて～

建設技術振興課

平成30年2月5日（月）、いわて女性の活躍促進連携会議に設置された5部会の一つである「けんせつ小町部会」の第2回目となる会議を開催しました。

会議では、部会における平成29年度の実績、けんせつ小町ネットワーク（SNS方式）の利用促進、今後の取組の方向性について事務局から報告し、意見交換を行いました。

意見交換では、けんせつ小町ネットワーク（SNS方式）の実績の在り方や女性の就業環境の現状課題等について活発な意見交換が交わされました。

今後、これらの意見を踏まえ、女性の活躍支援のための総合的な取組について検討していきます。

1 会議の目的

けんせつ小町部会における平成29年度の実績についての検証並びに今後の取組の方向性についての検討及び意見交換を行い、建設産業界における女性活躍支援のための総合的な取組に反映させる。

2 会議の概要

- (1) 日時 平成30年2月5日（月） 13時30分～15時30分
- (2) 場所 エスポワールいわて1F小会議室
- (3) 出席者 (一社)岩手県建設産業団体連合会 木下会長ほか女性委員8名

3 会議での主な意見

- ・ SNSでの交流は、進行役を決めて、流れを作りながら交流を進めていく必要がある。また、悩みを打ち明けるといっても楽しい場とした方がよい。
- ・ 女性マネジングスタッフ協議会主催の女性交流会は、お茶会なども開催し好評である。ネット上の交流だけでなく、面と向かって交流するのもいいのではないか。
- ・ SNS（内部交流）、HP（外部向け）、ブログ（日記）は全く別物であり、目的によって使い分ける必要がある。
- ・ 若い女性が入職しても、家庭・子育てとの両立等から働き続けることは大変。業界全体が働く女性への理解を深めていかなければならない。

4 平成29年度における取組及び今後の方向性

	取組内容	今後の対応等
第1回会議 (7月25日)	<p>《意見交換時の課題等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ・更衣室・休憩室の整備が不十分。 ・経営者や男性社員の意識が変わらないと取組進まず。当部会の取組周知が重要。 ・結婚・出産・育児と仕事を両立できるかが課題。そのバックアップ体制を業界で確立できるかが大事。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議での意見を踏まえた取組内容を検討。
けんせつ小町ネットワーク (SNS方式)による交流 (7月下旬～)	<ul style="list-style-type: none"> ・けんせつ小町ネットワーク(SNS方式)の開設 (参加申請による登録制) ・参加者16名(平成30年1月時点) 	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者少なく、交流状況が低調 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の再募集・公開型(非承認制)の運営方法の検討・常設サイトの開設
現場見学会 (8月30日)	<ul style="list-style-type: none"> ・女性だけの現場見学会としては岩手県初の試み。参加者55名。 <p>《意見交換時の課題等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生面の向上・勤務体制の改善 ・イメージアップの必要性 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍状況のさらなる情報発信に向け、対象者を親子、学生等に拡大することを検討。
講習会及びセミナー (11月6日)	<p>(1) ロールモデル講習会 講師：(一社) ソーシャルテクニカ 代表理事 田村裕美氏 自身の足跡から、今後の建設産業における女性の活躍を支援していく上での課題や取組の方向性等について、海外の視点も踏まえての講演内容。参加者57名</p> <p>(2) ICT技術体験型セミナー ・ドローン・3次元ソフト・VR・マッスルスーツ 《意見・要望》 ・男性社員や経営者に対する同様の内容による講習会の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・男性社員や経営者に対して意識改革を促す内容による講習会開催の検討 ・ICT研修会等の開催



会議の状況